

平成 28 年度（2016）年度

事業計画書

自 平成 28（2016）年 4 月 1 日

至 平成 29（2017）年 3 月 31 日

公益財団法人岩手県国際交流協会

Ⅰ 基本方針

近年、本県では海外からの技能実習生の増加等に伴い、在住外国人数の増加とともに、その多様化が進行している。

加えて、台湾を中心とする海外からの外国人観光客の増加やラグビーワールドカップの釜石開催決定、さらには、国際リニアコライダーの誘致実現に向けた活動の活発化など、国際交流に関わる動向の変化とともに、本県における外国人の受入れに関する体制整備の必要性が高まってきており、その中核となる担い手として、当協会や市町村国際交流協会が果たす役割への期待感も高まりつつある。

こうした状況の中、当協会ではこれまで、「いわて県民計画」や「岩手県多文化共生推進プラン」、「いわてグローバル人材育成ビジョン」等を踏まえ、市町村国際交流協会等との連携のもと、様々な外国人支援事業や多文化共生社会の構築に向けた事業を展開してきている。

一方、一部の市町村国際交流協会においては、運営基盤の脆弱化が深刻化してきており、また、多文化共生社会の構築を担う人材の不足も大きな課題となりつつある。

こうした課題認識のもと、平成 28 年度においては、次の 3 本の柱に沿って、沿岸被災地での優先的事業実施に配慮しながら、市町村国際交流協会の運営強化に向けた一層の支援や在住外国人が暮らしやすい環境の整備、グローバル人材の育成などに重点的に取り組んでいく。

また、取組みの推進に当たっては、県との相互の緊密な連携のもと、市町村国際交流協会や関係機関・団体との連携を一層強化しながら、効率的かつ効果的な組織運営と事業実施に努める。

① 「地域に根ざした国際理解・交流の推進」

各地域の特徴を生かし地域に根ざした国際交流の推進を図るため、活動の拠点となる市町村国際交流協会の運営支援を一層強化する。

また、地域でのワン・ワールド・フェスタや被災地を中心とした留学生との交流イベント等を拡充して実施し、異なる文化との交流を通じて、地域の様々な魅力を再認識する機会を提供するとともに、外国人とともに本県が有する様々な魅力を国内外に発信することにより、交流人口の増大等に貢献する取組みを促進する。

② 「多文化共生の地域づくり」

国際リニアコライダーの誘致実現やラグビーワールドカップの開催、外国人観光客の増加等に伴う交流人口の増大や多様化する在住外国人への対応の充実を図るため、より一層きめ細やかな外国人への情報発信機能の強化、外国人相談等の支援を行う。

また、新たに、防災時のサポーターの育成など、外国人対応の体制整備を進め、外国人支援拠点としての機能を強化する。

③ 「次代を担う人づくり」

意欲的に世界との関わりを深め、多様な価値観を尊重しながら交流し新しい価値の創造や課題の解決に取り組み、世界と岩手をつなぐ人材の育成を図るため、各市町村や市町村国際交流協会、関係機関と連携し、「世界とのかけはしクラブ」設置運営事業を一層推進する。

また、グローバルな視点から岩手の国際化・多文化共生について理解を深めるセミナーや

次世代の人材を育成するための講座を開催し、地域の活性化に寄与できる次代を担う人づくりを進める。

II 事業計画

1 地域に根ざした国際理解・交流の推進

(1) 国際交流の推進

① 国際交流センターの運営（県委託等）

県から委託を受けて、国際交流等の情報提供、在住外国人に対する生活支援、県民と外国人との交流等の拠点施設である国際交流センターを運営するため、スタッフ及び国際交流補助員等を配置し、センター利用者への助言や支援、情報収集・提供、在住外国人の相談への対応や国際交流・国際理解の事業等を実施する。

スタッフ：6名（英語、中国語、韓国語対応）

外国人相談専門員：3名（中国語、韓国語、フィリピン人対応）

国際交流補助員：2名（英語、スペイン語、中国語対応）

② 外国人との交流会の開催

県国際交流員や留学生、在住外国人、国際交流関係団体等と当協会の協働企画により、定期的に外国人との交流会を開催し、在住外国人との交流を深める。

開催場所：国際交流センター

③ 国際交流イベントの開催

ア「2016 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」の開催

国際交流・協力・多文化共生について、広く一般県民に啓発普及を図るとともに、在住外国人と交流することを目的に、在住外国人やボランティア、国際交流関係団体等と連携・協働して、国際交流イベントを開催する。

開催場所及び時期：国際交流センター他 11月（予定）

事業内容：外国紹介ブース、国際交流関係団体等の活動紹介、世界とのかけはしクラブワークショップ等

イ 盛岡さんさ踊りへの参加

在住外国人や国際交流関係団体等と連携し、盛岡さんさおどりに参加し、国際交流の啓発普及を行う。

④ 「身近な国際協力～世界フェアトレードデイ～」の実施

国際協力機構（JICA）東北支部や県内フェアトレード団体等と連携し、フェアトレードを通じて国際協力の意識啓発を図る。

⑤ ホストファミリーの登録・活用

ホームステイの受入れにより外国人との交流を深めるため、ホストファミリーの登録を推進するとともに、各市町村協会や関連団体等と連携し、活動の機会を提供する。

⑥ いわて国際化人材（人材活用ネットワーク）の登録・活用

岩手の国際化の推進や多様化する多文化共生への対応を図るため、多様な分野の人材を登録し、通訳・翻訳、国際理解講座などの各種講座、日本語学習の講師等として登録者を紹介する。

また、市町村国際交流協会等の協力のもと、希少言語や盛岡地域以外からの依頼に対応できるよう登録者の拡大を図る。

(2) 国際理解の推進

① 企画展示

県民の国際理解を深めるため、様々なテーマでの企画展示を行うとともに、市町村国際交流協会や国際交流関係団体等による企画展示や活動紹介、イベント情報等を発信する機会を提供する。

(3) 国際交流団体等との連携

各地域の国際化に向けた連携・支援を強化するため、県内4圏域毎に担当職員を配置し、各市町村国際交流協会との情報交換を緊密に行い、実態把握に努めながら、各協会の実状に即した支援を行う。

① 地域別市町村国際交流協会との意見交換会の開催

各地域内での情報共有を図り、各市町村協会間及び当協会との連携を強化するため、地域別市町村国際交流協会との意見交換会を開催する。

② 国際交流関係団体連絡会議の開催

市町村国際交流協会や国際交流・協力・多文化共生に関わっている各団体の活動の活性化及び個別課題の解決に向け、相互の意見・情報交換等を行う。

③ 国際交流関係団体等の活動支援助成

県内の国際交流団体等が行う県民参加型の国際交流・協力・多文化共生の活動及び日本語教室の運営経費の一部を助成する。

④ 国際交流関係団体等との共催事業の実施

国際交流関係団体等が行う国際交流・協力・多文化共生の事業に対し、共催や後援等により支援する。

2 多文化共生の地域づくり

(1) 情報の収集・提供

① 多言語ホームページによる情報提供

協会ホームページ（ブログ、facebook、twitter、メーリングリスト「いわてプラネット」を含む。）により、多言語での生活情報、国際交流関係団体の活動情報等の迅速な発信や国際リニアコライダー（ILC）関連情報の随時発信等、在住外国人への生活情報等の提供の充実を図る。

また、同様に海外に向けても岩手の情報を発信する。

言語：英語、中国語、韓国語、日本語

② 多言語の国際交流情報紙の発行

県内外の国際交流・協力・多文化共生のイベント情報や外国人への生活情報、協会からの情報等を掲載した英語及び中国語、日本語の国際交流情報紙を発行する。

発行回数：年4回（予定）

③ 国際交流・協力・多文化共生に関する図書や情報、物品の収集提供

ア 国内外の国際交流・協力・多文化共生・留学等に関する図書や資料・教材を収集し、提供する。

イ 在住外国人の協力を得ながら、各国大使館や政府観光局などを通じて国別、地域別の情報や資料を収集し、提供する。

ウ 国別の物品（国旗、民族衣装、楽器、玩具など）を収集し、貸出を行う。

(2) 日本語学習支援

① 日本語サポーターの登録・育成と活用

在住外国人の様々な日本語学習ニーズに対応できるよう、日本語サポーターの登録と育成を

行い、外国人の依頼に適した日本語サポーターの紹介を行う。

(3) 外国人県民等の生活支援

① 外国人相談の実施

ア 相談窓口の設置

在住外国人が安心して生活できるよう、日本語学習・医療・福祉・子育て・家庭内の問題等に関する事など、幅広い相談に対応するため、外国人相談窓口を設置する。

相談窓口設置場所：国際交流センター

相談対応時間：毎日（年末年始（12/29～1/3）・閉館日を除く。）9：00～20：00

対応言語：英語、中国語、スペイン語、韓国語、日本語

イ 相談専門員の配置（一部県委託）

中国語、韓国語、英語での対応が可能な相談員を配置し、県内在住外国人数が多い中国籍、韓国・朝鮮籍及びフィリピン籍等の在住外国人からの相談に対応する。

外国人相談専門員：3名（中国、韓国、フィリピン人対応各1名）

ウ 外国人定期相談日

在住外国人が抱える在留資格・諸手続などの問題を解決するため、岩手県行政書士会との連携により定期的な相談日を設ける。

開催日：毎月第3水曜日 15：00～18：00

開催場所：国際交流センター

エ 地域巡回相談

外国人相談専門員が地域の日本語教室等を巡回し、日本語教室等に寄せられた相談への対応や情報提供を行う。

オ 震災復興関連の相談対応

震災に関する相談やそれに付随した相談に対応するため、被災地に被災地外国人相談員を引き続き配置する。

配置地域：大船渡市・陸前高田市、大槌町、山田町

② いわて災害時多言語支援体制構築事業（GLAIR 助成）**新規**

東日本大震災の教訓を踏まえ、災害時における外国人に対応した支援体制を構築するため、災害時多言語支援者の登録・育成や外国人支援連絡網の整備を進めるとともに、実践訓練を実施する。

③ 私費外国人留学生支援

ア 奨学金支給（県補助）

私費外国人留学生の経済的負担の軽減を図るため、奨学金を支給するとともに、「いわて留学生大使」に委嘱し、県内で行われる国際交流活動又は県内就職支援の取組みへの積極的な参加を促進する。

支給期間：平成27年4月～平成28年3月

支給人数：10人

奨学金額：20,000円/月

イ 留学生交流活動支援事業（県補助）**新規**

県内在住の留学生と沿岸地域の交流を促進するため、現地において地域固有の文化や特色を生かした交流イベントを行う。

開催地域：沿岸地域等 4か所

ウ 県内就職支援

岩手県外国人留学生就職支援協議会（事務局 岩手大学）と連携し、外国人留学生の県内就職を支援する。

3 次代を担う人づくり

(1) 講座・研修

① いわてグローバル・カレッジの開催

グローバルな視点から岩手における国際化・多文化共生について理解を深めるとともに、今後の国際交流・協力・多文化共生について様々な角度から考える契機とするため、県民を対象とした「いわてグローバル・カレッジ」を開催する。

開催場所：国際交流センター

開催回数：2回

② 「いわて青年国際塾」の開催

グローバル化に対応できる次世代の人材を育成するため、県内在住の高校生、大学生など若い世代を対象に、コミュニケーション能力の向上などグローバルな人材に必要とされる技術の習得、留学に関する情報提供などを目的とした「いわて青年国際塾」を開催する。

開催回数：2回

③ 「世界とのかけはしクラブ」設置運営事業（県委託）の実施

市町村の海外派遣事業参加者や国際交流に関心のある高校生や大学生など若者を中心に、海外体験を共有する機会を設けるとともに、留学生等と一緒に海外への情報発信や海外で体験したことを地域の活性化に生かす活動など、岩手と世界をつなぐ取組を支援する。

④ 国際理解ワークショップの開設

広く国際交流や国際協力、多文化共生への理解を深めるため、当センターを訪れる小学生、中学生等を対象にワークショップを開設する。

⑤ インターンシップ・プログラム

本協会の活動や国際交流・協力・多文化共生への理解を深め、就職意識の醸成にも資するよう、県内在住の大学生、高校生などを対象とするインターンシップ・プログラムの受入れを行う。

(2) 海外研修員等の受入れ支援

① 海外研修員等のサポート（県委託）

県が海外から受け入れる海外自治体職員研修員及び海外技術研修員の研修等が円滑に行われるよう、研修機関との連絡調整を行う。また、本県において充実した生活を送り、本県の良き理解者・支援者となるようサポートする。

海外自治体職員研修員： 国／中国

海外技術研修員： 国／ブラジル 職種／調理（予定）